

2020年3月期  
第2四半期 決算説明資料

# 2020年3月期業績概要(第2四半期)

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2019年3月期
売上高	17,118	28,197	51,352
営業利益	△2,710	4,343	4,638
経常利益	△2,899	4,628	4,991
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△2,061	3,312	3,835

(第2四半期)  
為替レート(円)

ドル・円	107.92	113.57	期末為替レート(上段)
	108.78	109.99	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	118.02	132.14	
	120.87	130.22	

# ハイライト

## 事業概況

### 【横編機】

- ・アジア 中国、バングラデシュ、ベトナムなどの主要エリアでの設備投資が低調となりました。投資マインドの低下はホールガーメント横編機にも波及し、同機の販売も前年を下回りました。
- ・欧州 主力産地のイタリア市場での販売が低調に推移しました。
- ・中東/トルコ 金融引締めによる影響で設備投資の停滞が続いています。
- ・日本 前年同期並みの売上高となりました。

### 【デザインシステム】

- ・デザインシステム「SDS-ONE APEX3」は日本では前年同期並みになりましたが、海外市場で横編機の販売減の影響を受け減少しました。
- ・自動裁断機「P-CAM」は海外向けで売上を伸ばしましたが、わずかに前年を下回りました。

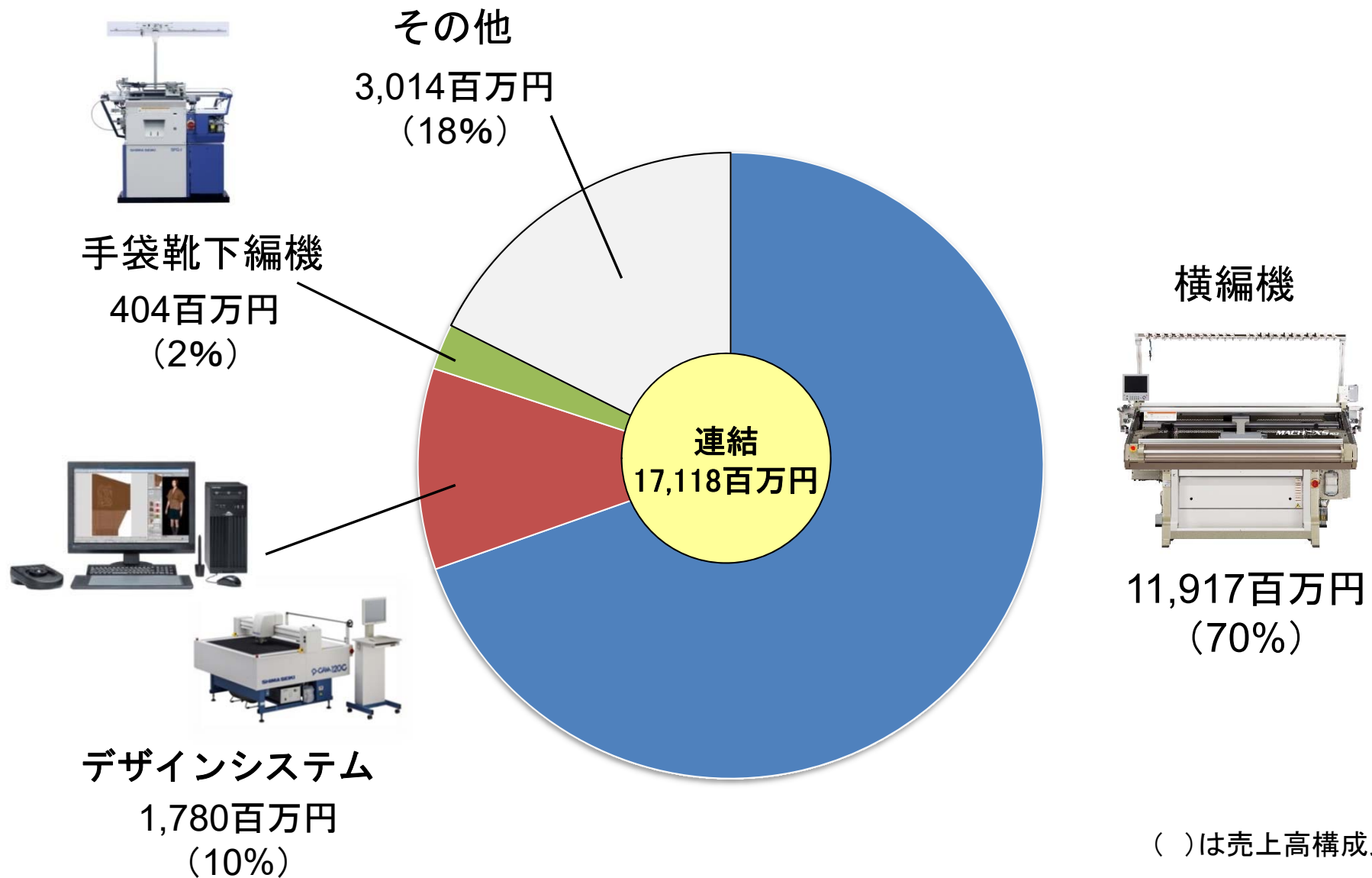
### 【手袋靴下編機】

- ・大手メーカーの設備更新が進まず、減収となりました。

## 利益面

- ・売上総利益率は販売単価の下落、工場操業度の低下があり大幅に悪化しました。また販管費においても貸倒引当金繰入額(7.3億円)、ITMA関連費用(2億円)を計上し、開発試験研究費も2.5億円増加しました。
- ・営業外費用に為替差損5億42百万円を計上しました。

# 事業セグメント別売上高構成〔連結〕

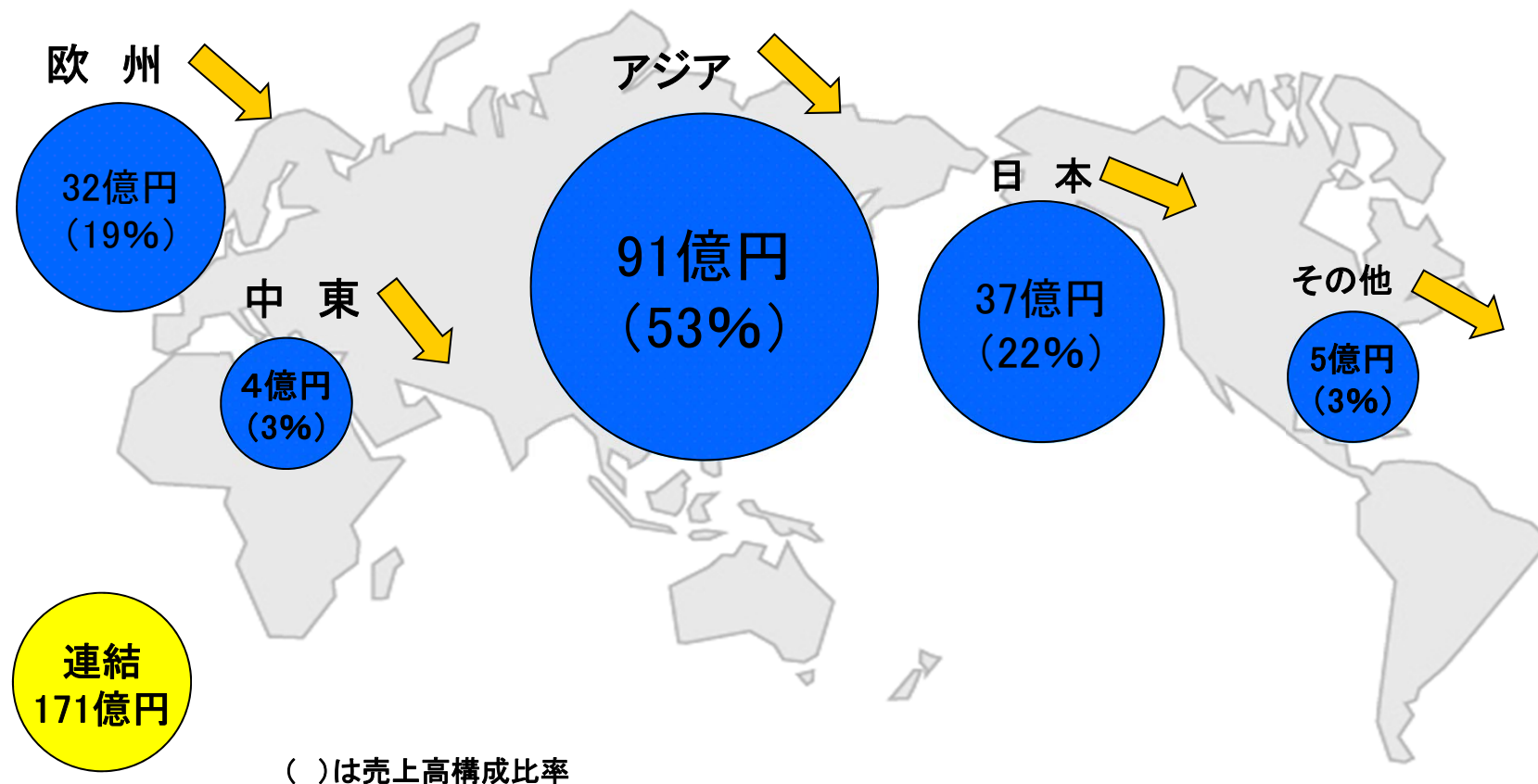


# 事業セグメント別売上高・営業利益(第2四半期)

	(百万円)		(百万円)	
	売上高	前年同期比(%)	営業利益	前年同期比(%)
横 編 機	11,917	△45.7	152	△97.6
デザインシステム	1,780	△4.6	33	△92.2
手袋靴下編機	404	△51.2	△34	—
そ の 他	3,014	△15.5	355	△45.3
消 去			△3,217	—
合 計	17,118	△39.3	△2,710	—

# 地域別売上高構成〔連結〕

アジア市場・中東市場が低調



# 地域別売上高(第2四半期)

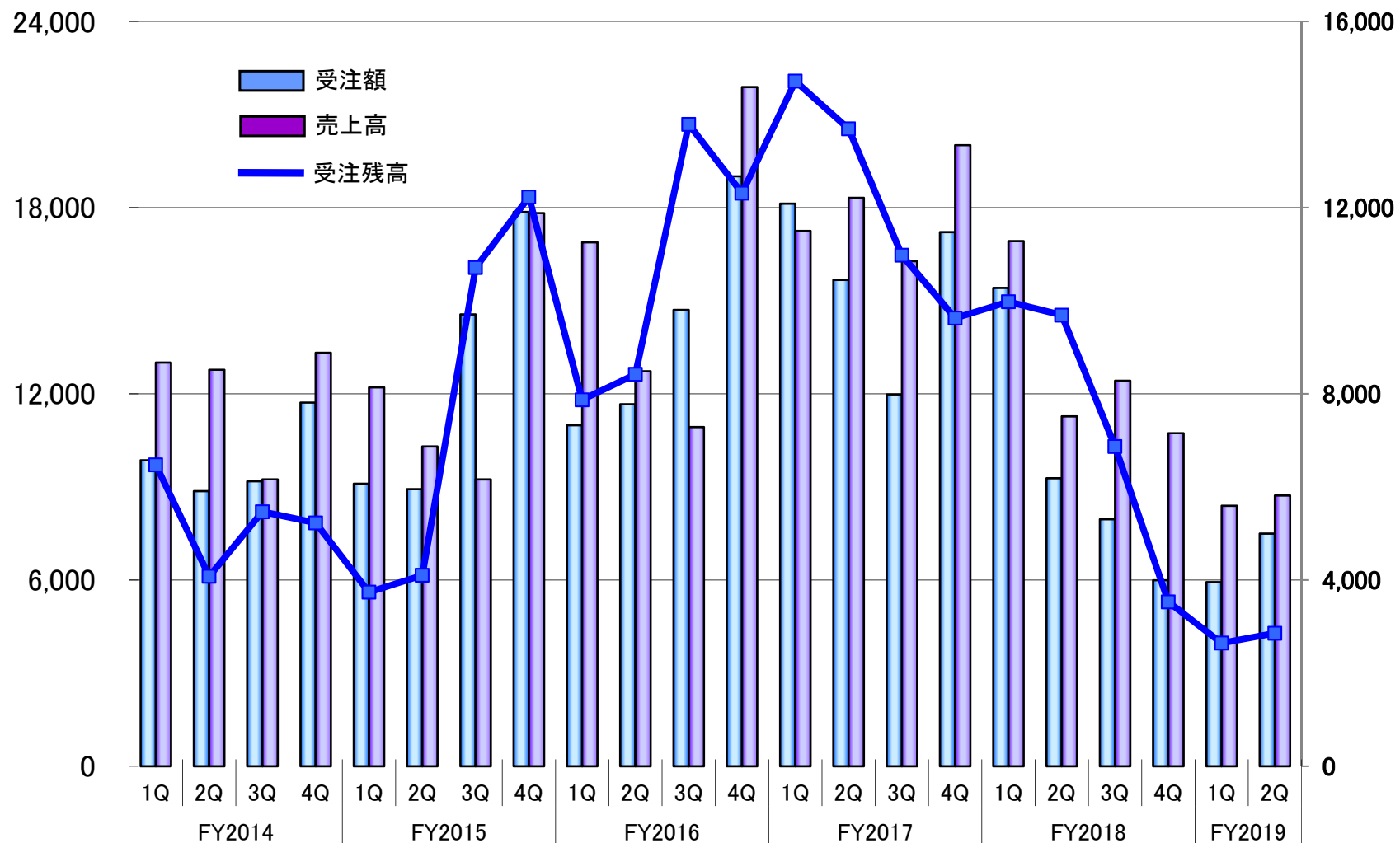
(百万円)

地 域	当 期	前 期	前期比(%)
日 本	3,715	4,132	△10.1
欧 州	3,232	5,550	△41.8
ア ジ ア	9,121	14,855	△38.6
中 東	464	2,937	△84.2
その他(海外)	584	721	△19.0
合 計	17,118	28,197	△39.3

# 受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)





# 四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2018/3				2019/3				2020/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	17,251	18,318	16,275	20,013	16,923	11,273	12,423	10,732	8,393	8,724
営業利益	3,747	4,313	3,194	3,650	3,307	1,036	1,257	△962	△872	△1,838
経常利益	4,181	4,702	3,516	3,125	3,670	957	1,215	△852	△944	△1,954
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,048	3,480	2,422	2,328	2,571	740	849	△327	△689	△1,372

(百万円)

受注高	18,130	15,670	11,982	17,211	15,412	9,280	7,958	5,994	5,934	7,495
受注残高	14,718	13,693	10,979	9,627	9,979	9,691	6,869	3,531	2,647	2,858

# 貸借対照表〔連結〕

(百万円)

科目	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 期末	科目	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 期末
<b>(流動資産)</b>	<b>95,735</b>	<b>102,854</b>	<b>(流動負債)</b>	<b>17,252</b>	<b>18,962</b>
現金及び預金	25,534	26,920	支払手形及び買掛金	1,651	2,484
売上債権	52,891	56,784	電子記録債務	373	520
たな卸資産	18,487	19,288	短期借入金	8,633	8,879
その他	1,346	1,854	その他	6,592	7,078
貸倒引当金	△2,523	△1,993	<b>(固定負債)</b>	<b>4,974</b>	<b>5,017</b>
			<b>(負債合計)</b>	<b>22,227</b>	<b>23,979</b>
<b>(固定資産)</b>	<b>43,392</b>	<b>42,292</b>	<b>(株主資本)</b>	<b>125,474</b>	<b>128,424</b>
有形固定資産	26,101	25,579	(その他の包括利益累計額)	△8,614	△7,292
無形固定資産	3,089	3,352	<b>(新株予約権)</b>	<b>25</b>	<b>19</b>
投資その他の資産	14,201	13,361	<b>(非支配株主持分)</b>	<b>14</b>	<b>14</b>
			<b>(純資産合計)</b>	<b>116,900</b>	<b>121,166</b>
<b>資産合計</b>	<b>139,127</b>	<b>145,146</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>139,127</b>	<b>145,146</b>

# キャッシュ・フロー計算書〔連結〕

(百万円)

項 目	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,743	4,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,491	△1,859
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,279	△1,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△381	293
現金及び現金同等物の増加額(△減少)	△1,408	1,594
現金及び現金同等物の期首残高	26,849	24,223
現金及び現金同等物の期末残高	25,440	25,818

# 2020年3月期業績計画〔連結〕

## 業績見通しを下方修正

	(百万円)			(百万円)
	2020年3月期 (修正後)	前年比(%)	2020年3月期 (期初計画)	2019年3月期
売上高	40,000	△22.1	52,300	51,352
営業利益	△3,600	—	4,000	4,638
経常利益	△3,500	—	4,400	4,991
親会社株主に 帰属する当期純利益	△2,400	—	3,300	3,835

通期計画の前提 為替レート 105円/ドル 115円/ユーロ

為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル39百万円 ユーロ2百万円

# 事業セグメント別 売上高・営業利益計画〔連結〕

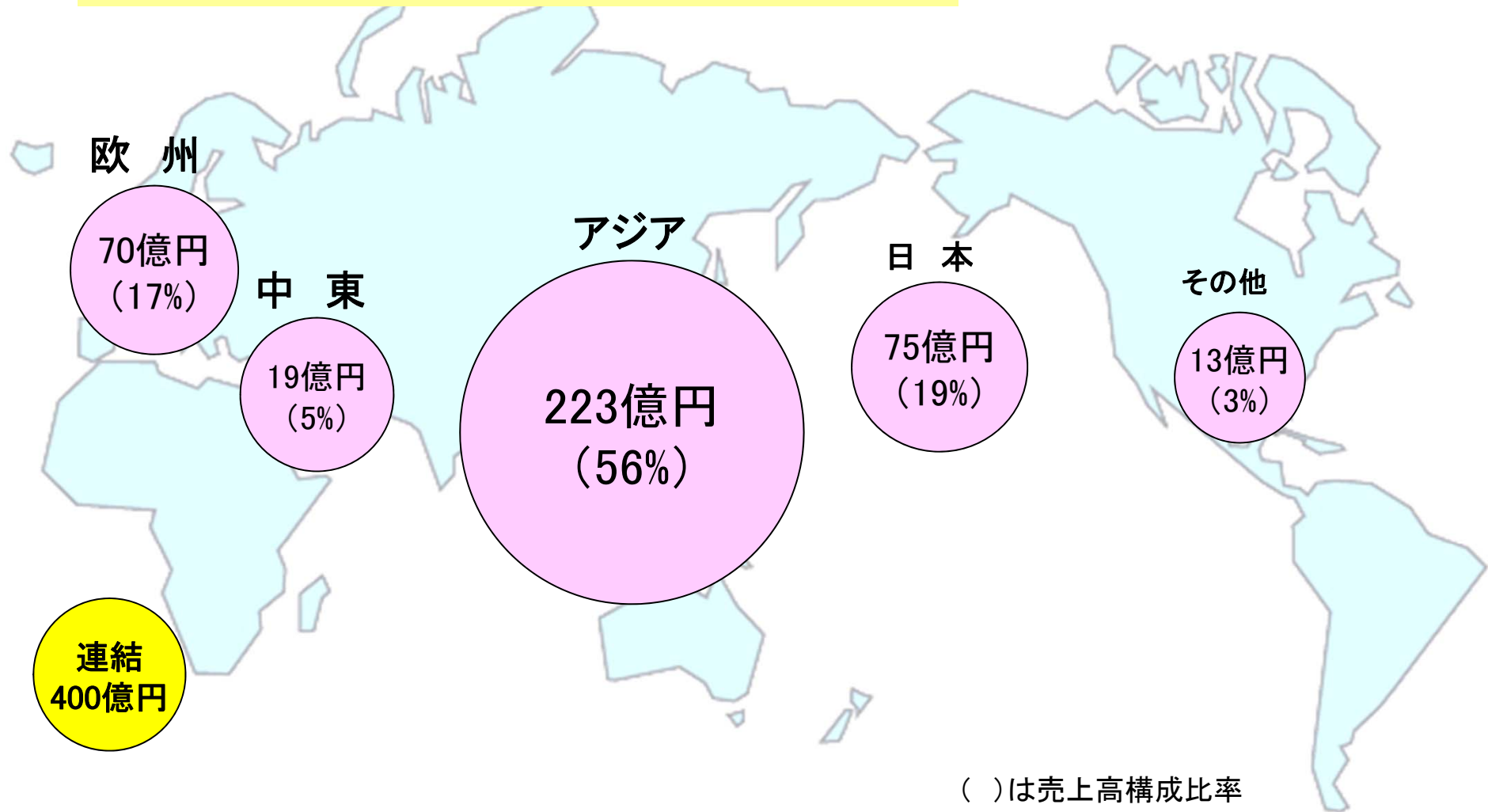
## 横編機事業の見通しを大きく変更

(百万円)

	売上高	前期比(%)	営業利益	前年比(%)
横編機	28,680	△26.1	1,700	△80.6
デザインシステム	3,850	△12.1	250	△73.5
手袋靴下編機	1,250	△19.6	30	△87.4
その他	6,220	△5.9	720	△27.9
消去			△6,300	
合計	40,000	△22.1	△3,600	—

# 地域セグメント別売上高計画〔連結〕

## アジアの見通しを大きく変更



# 研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

20年3月期(計画)

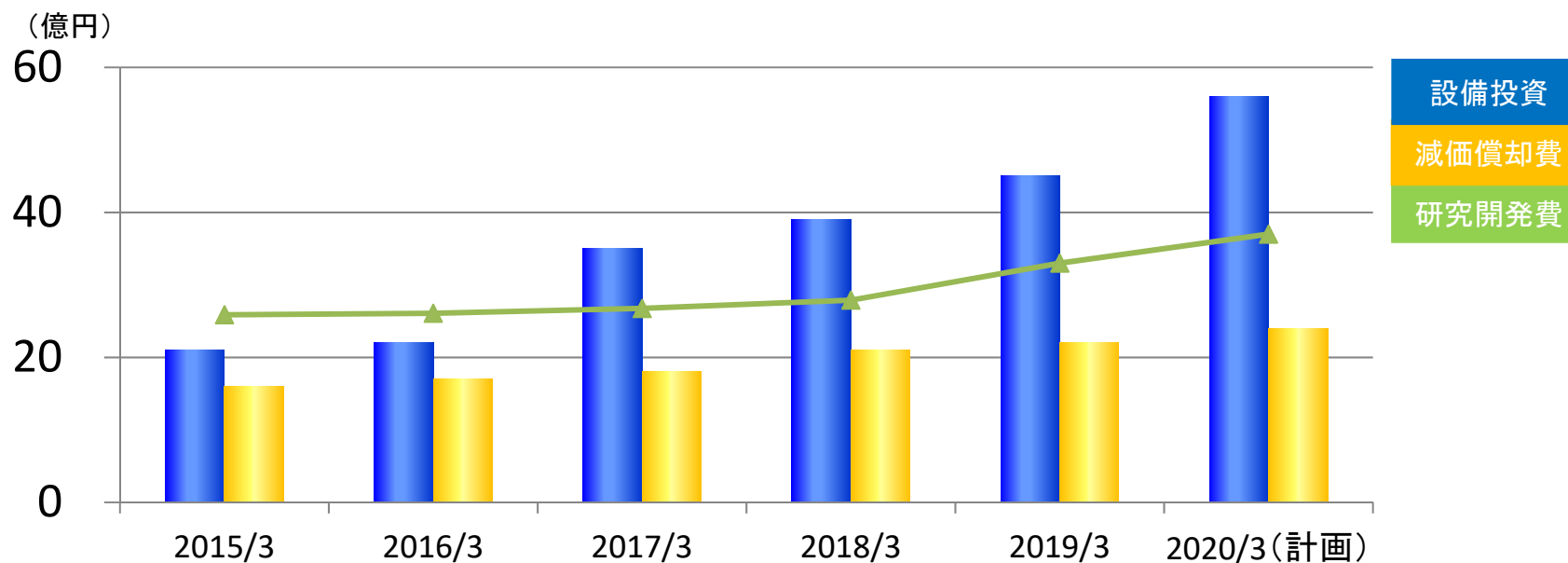
設備投資56億円 (リース資産23億円含む)

減価償却費24億円、研究開発費37億円

20年3月期(第2四半期実績)

設備投資18億円 (リース資産5億円含む)

減価償却費12億円、研究開発費18億円



# 研究開発費・設備投資等の推移②

## 本社工場に新工場棟を建設

2019年12月竣工予定

ホールガーメント横編機の生産能力増強を目的とする



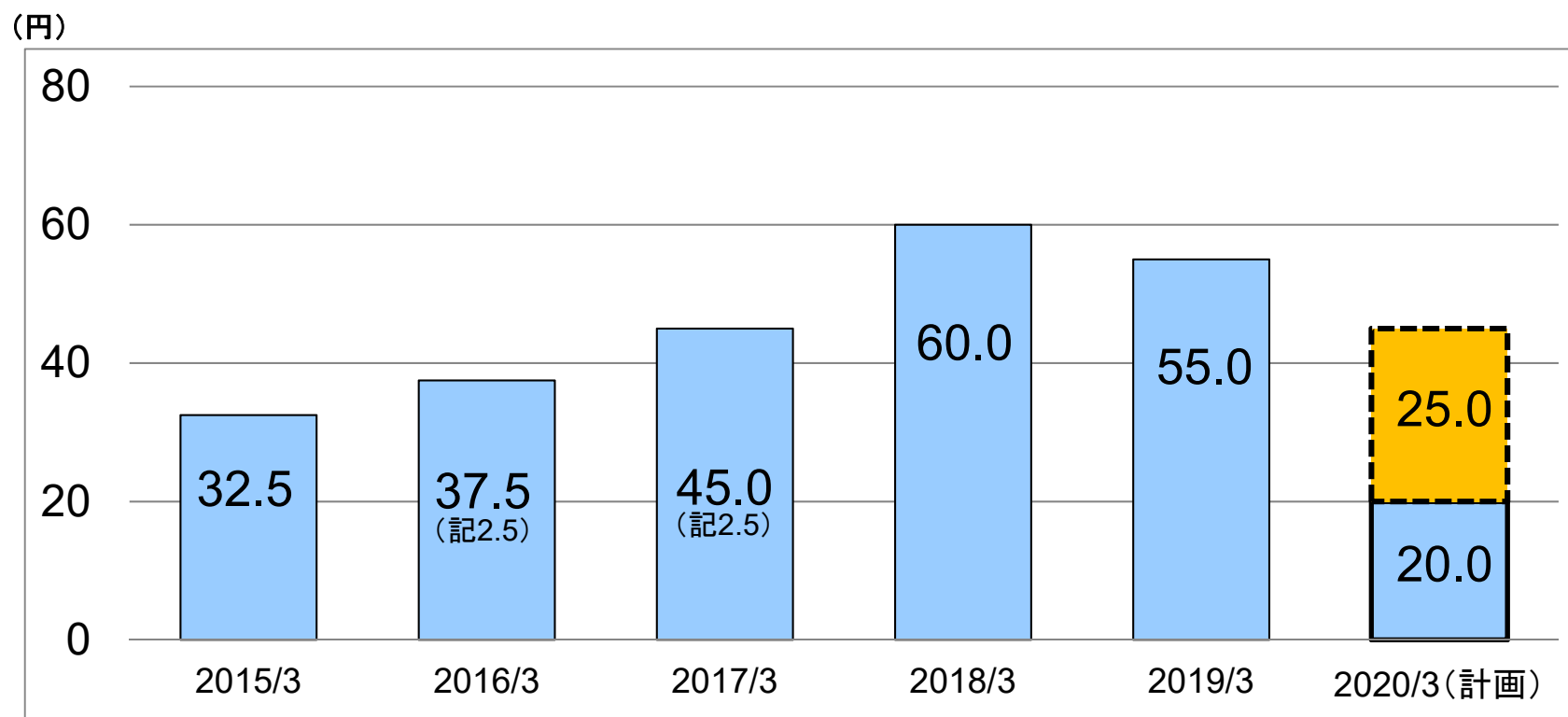
本社工場



# 株主還元

1. 自己株式100万株(発行済株式総数2.82%(自己株式除く)を取得  
(10/31公表)

2. 20/3期〔計画〕 中間配当金20円を実施、期末配当金25円を予定



# トピックス



## ITMA 2019 (バルセロナ)

***KNITify the World™***  
*Smart Solutions in Textiles*

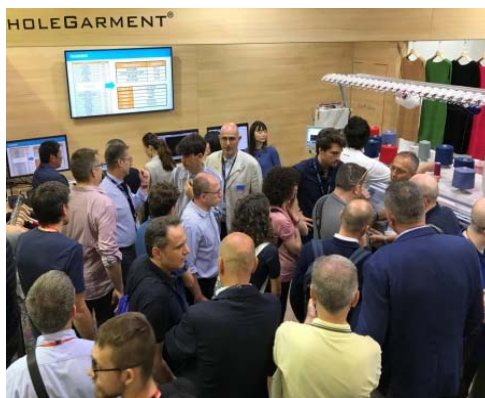
「世の中のニット化」をテーマに業界へ訴求

開催日時: 2019年6月20日～26日

世界最大の国際繊維機械展(4年に1度開催)

繊維関連企業が世界45ヶ国から1,717社が出展。

137ヶ国、10.5万人の来場



# アパレル業界を取り巻く環境と当社の方向性

## ・デジタル化とサステナビリティ

### アパレルメーカーを取り巻く環境

サステナブルな  
サプライチェーンへの対応

リードタイムの短縮

ECコマース  
オムニチャネル

カスタマイゼーション



- ・ホールガーメント、デザインシステム  
活用による過剰生産や在庫量の抑制
- ・バーチャルサンプルのECコマースへの  
応用、需要予測に活用
- ・デザインシステムにAIを導入し、  
デザイン制作をサポート
- ・糸のプラットフォーム(デジタル)化を進  
め、シミュレーション、商品企画の効率化
- ・PLM(プロダクトライフサイクル  
マネジメント)で生産最適化を実現

### シマセイキの提案



WHOLEGARMENT®

SOS-ONE  
APEX4

MADE 2 FIT™  
WITH WHOLEGARMENT®

yarnbank™

Shima KnitPLM®

# 新分野を開拓

横編みニットの特性である「素材から形をつくる」ファッションの枠にとどめず、多彩な分野に広げ、需要の拡大を目指します。



立体編成技術



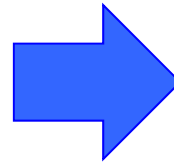
インレイ(横糸挿入)編成技術



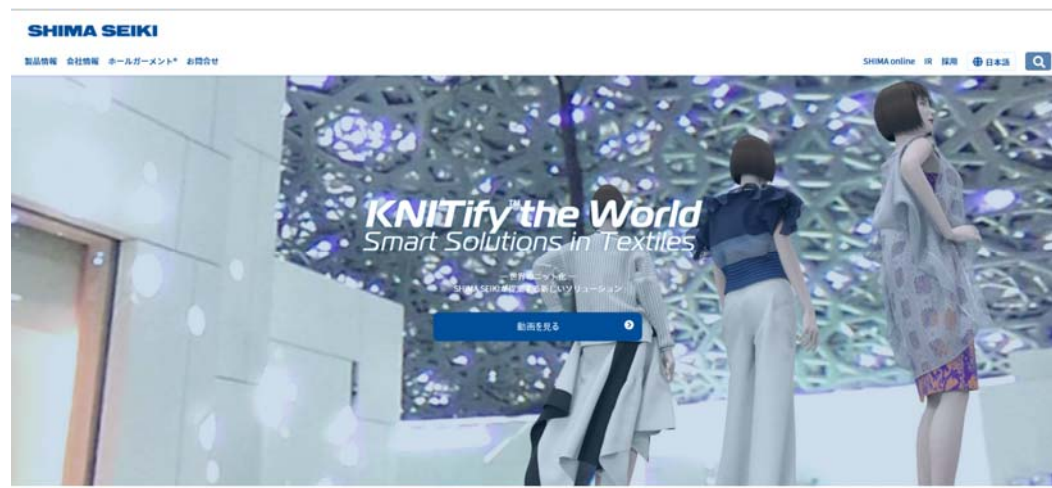
ナイロンモノフィラメント



炭素繊維プリフォーム



スポーツ、インテリア、産業資材、  
メディカル、ウェアラブル、自動車、航空宇宙



ホームページをリニューアルしました

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日(10月31日)時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。